



# 2011年3月期 決算説明会

期待を超える

2011年5月24日



株式会社 **山善**

代表取締役社長(CEO) 吉居 亨

- I. 2011年3月期(第65期)決算概要
- II. 中期経営計画「VISTA-3S」の進捗
- III. 2012年3月期(第66期)業績予想
- IV. 株主還元

1. 2011年3月期(第65期)連結損益実績
2. 経常利益の増減要因
3. 部門別売上高実績(連結)
4. 部門別概況
5. 貸借対照表(連結)
6. 財務の状況、キャッシュフロー



YAMAZEN

# 2011年3月期(第65期) 連結損益実績①

## ■ 連結損益計算書

(単位:百万円)	2010年3月期 (第64期)	2011年3月期 (第65期)	増減率 %	公表計画 (修正分)	計 画 対 比 %
売 上 高	241,410	<b>323,703</b>	34.1	310,000	104.4
売上総利益	30,018	<b>39,992</b>	33.2	—	—
販売管理費	29,182	<b>32,576</b>	11.6	—	—
営業利益	836	<b>7,415</b>	786.8	6,400	115.8
経常利益	955	<b>7,623</b>	697.7	6,500	117.3
特別利益	1	<b>103</b>	—	—	—
特別損失	30	<b>951</b>	—	—	—
当期純利益	438	<b>4,363</b>	894.6	4,000	109.1

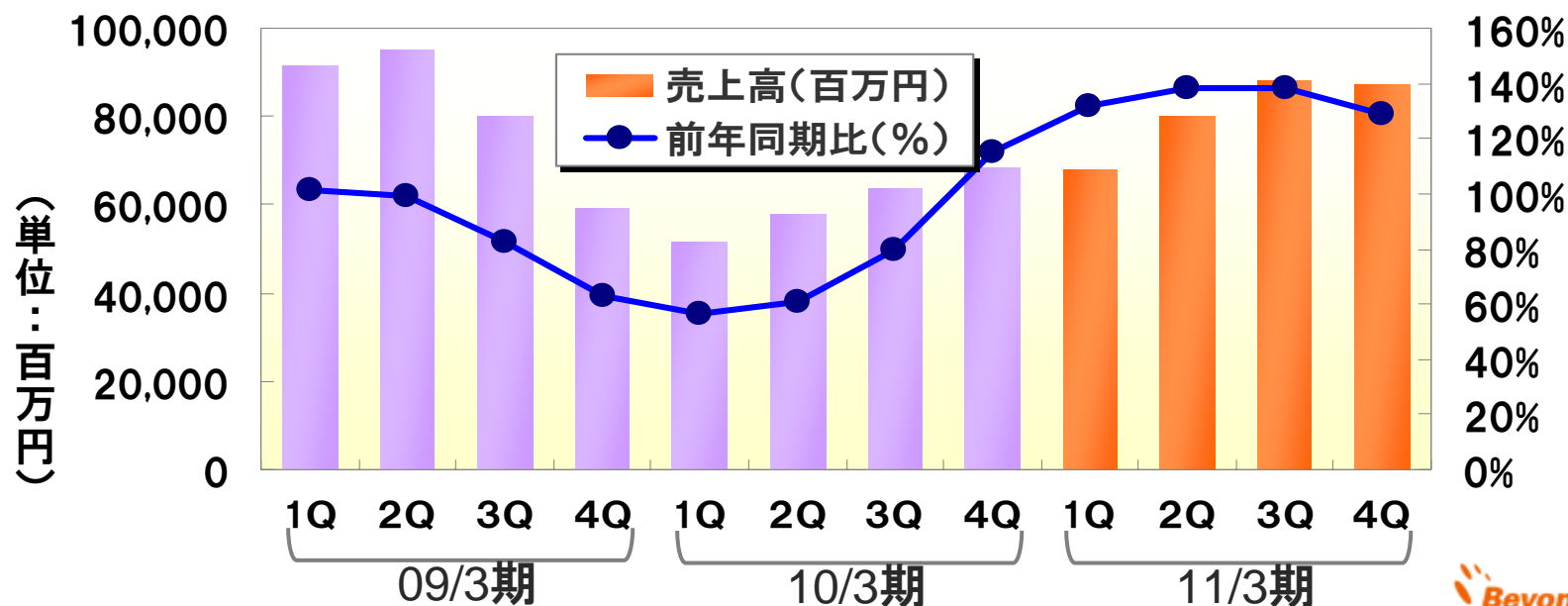
- 国内景況の回復と新興国向け設備需要が好調。国内外で生産財事業の業績が伸展。消費財関連も堅調に推移し、增收増益。



# 2011年3月期(第65期) 連結損益実績②

## ■ 四半期推移

(単位:百万円)	1Q 2010 4-6	2Q 2010 7-9	3Q 2010 10-12	4Q 2011 1-3
売上高	67,891	80,239	88,030	87,543
営業利益	574	1,845	2,757	2,239
経常利益	551	1,853	2,835	2,384
当期純利益	364	1,217	1,728	1,054



# 経常利益の増減要因

(単位:百万円)

**2010年3月期 955百万円**

国内生産財	3,178
住設建材	799
家庭機器	622
国際(海外生産財)	5,329
その他	43

売上総利益増加  
(増益要因)

**+9,973**

販管費増加  
(減益要因)

人件費関係増加	▲1,309
運賃増加	▲730
支払手数料増加	▲813
旅費交通費増加	▲142
その他の増加	▲397

**▲3,393**

営業外収支  
(増益要因)

**+87**

デリバティブ評価損減	34
受取利息増加	240
支払利息増加	▲129
その他営業外収支差	▲57

**2011年3月期 7,623百万円**

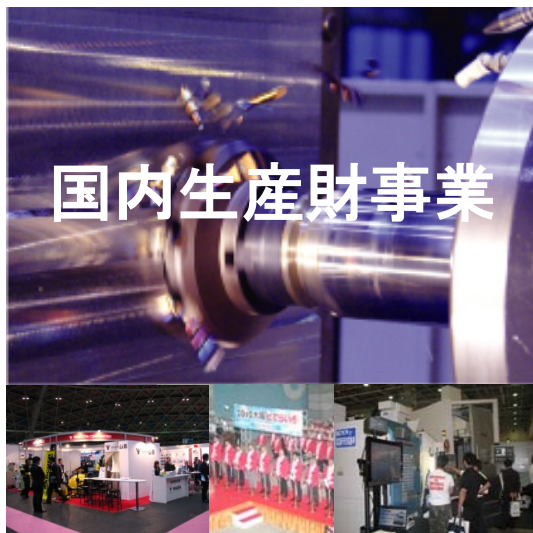
前期比 **+6,667百万円**



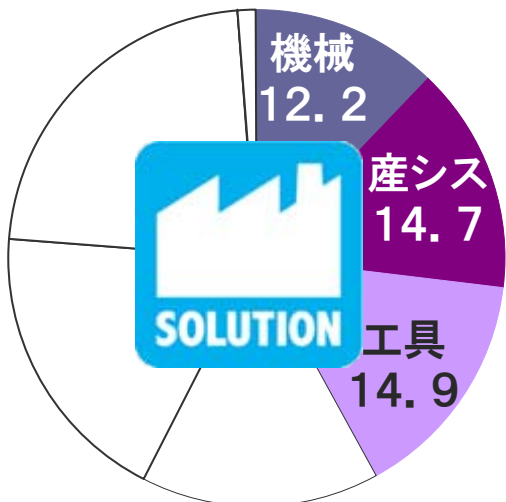
# 部門別売上高実績(連結)

## ■ 部門別売上高／公表計画対比

(単位:百万円、%)	2010年3月期 (第64期)	2011年3月期 (第65期)	前期比 増減率	公表計画 (修正分)	計画 対比
工作機械部門	26,529	<b>39,583</b>	49.2	36,000	110.0
産業システム部門	39,754	<b>47,644</b>	19.8	46,500	102.5
機械工具部門	38,382	<b>48,172</b>	25.5	47,000	102.5
(国内生産財計)	104,667	<b>135,400</b>	29.4	129,500	104.6
住設建材部門	47,751	<b>50,645</b>	6.1	50,000	101.3
家庭機器部門	53,941	<b>60,455</b>	12.1	57,500	105.1
(消費財部門計)	101,692	<b>111,101</b>	9.3	107,500	103.3
国際営業部門	31,876	<b>73,697</b>	131.2	70,000	105.3
(海外生産財計)	31,876	<b>73,697</b>	131.2	70,000	105.3
その他部門	3,173	<b>3,504</b>	10.4	3,000	116.8
合計	241,410	<b>323,703</b>	34.1	310,000	104.4



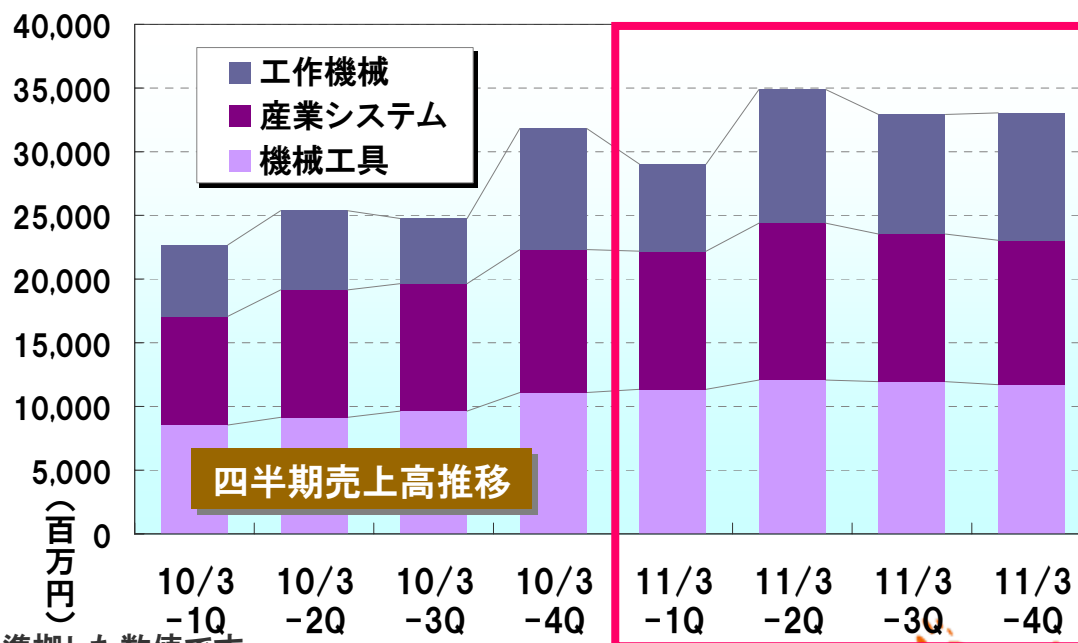
国内生産財事業



売上高 135,400百万円 (前期比29.4%増)

営業利益※ 2,737百万円 (利益率2.0%)

- 自動車関連・建設など、幅広い業種で素材加工や機械加工需要が堅調に回復。
  - 工作機械の需要増に連動して、切削工具(前期比136%)・補要(146%)等、周辺機器が復調。



※ 注記：営業利益(率)は、「セグメント情報」に準拠した数値です。



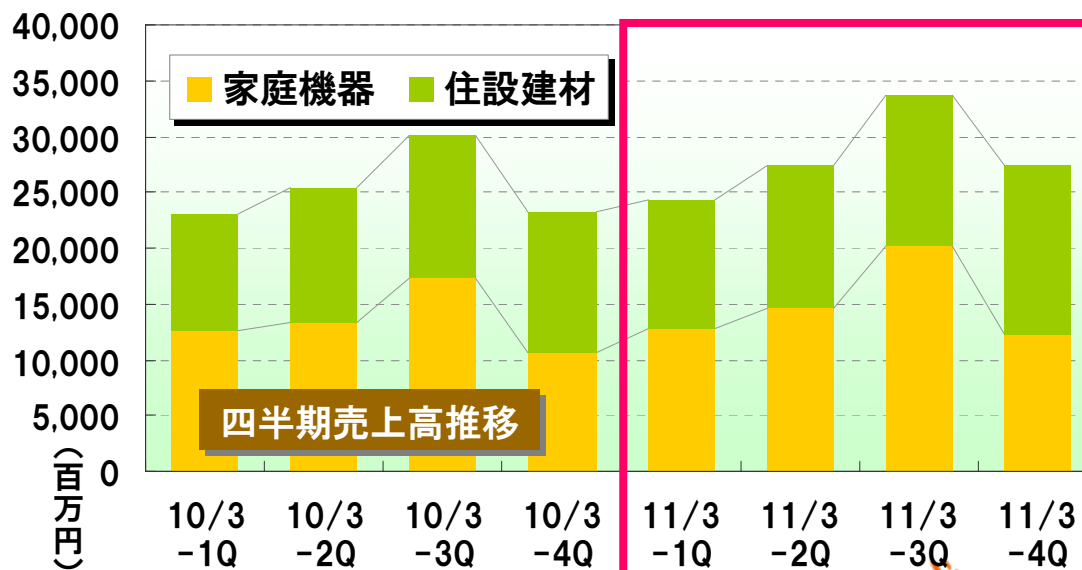
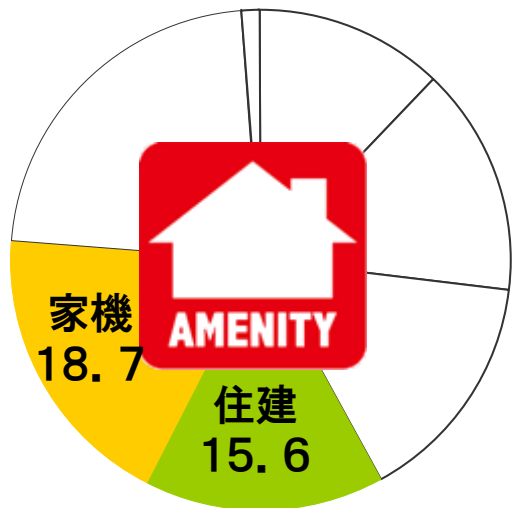


## 消費財事業

**売上高 111,101**百万円 (前期比**9.3%**増)

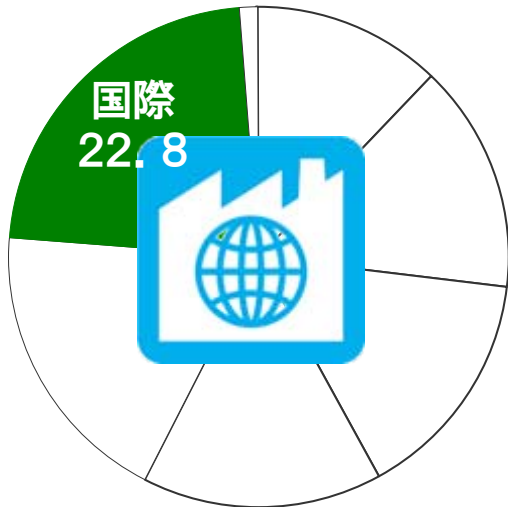
**営業利益 3,589**百万円 (利益率**3.2%**)

- 住設建材部門は、住宅市場が緩やかに回復。猛暑、環境機器拡販効果で増収基調を堅持。
  - PA、太陽光発電システムの取扱いが好調。
- 家庭機器部門は、季節商品のほか、調理家電・健康機器好調で、売上高は過去最高を更新。





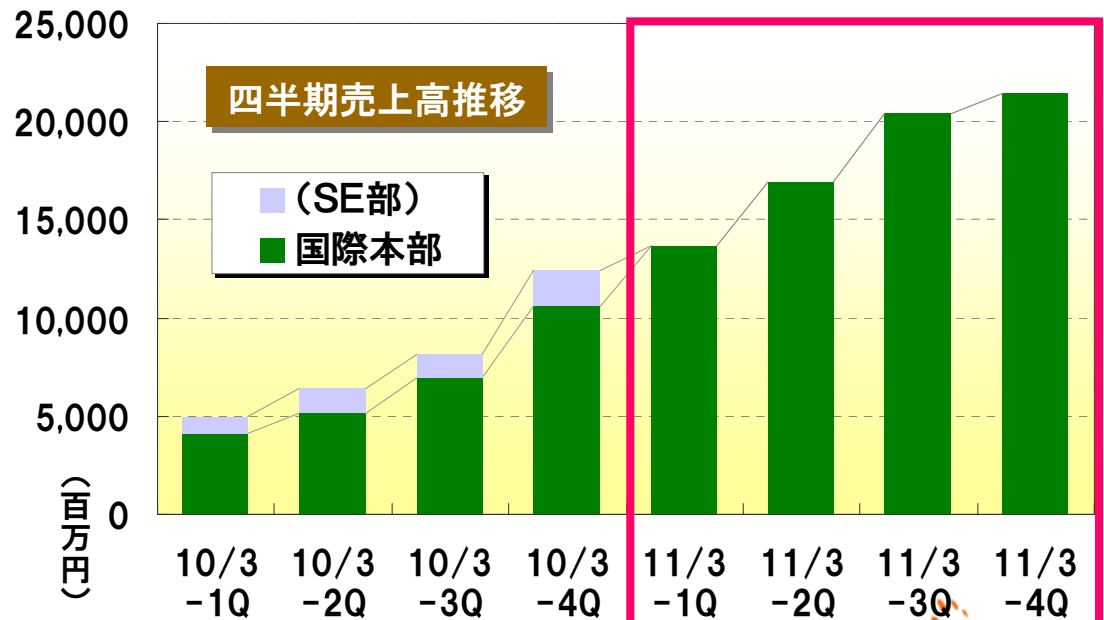
海外生産財事業



売上高 ※ **73,697**百万円 (前期比**131.2%**増)

営業利益 **3,634**百万円 (利益率**4.9%**)

- 中国、ASEANを中心に、IT産業や環境関連産業向けに工作機械需要が拡大。
  - 海外(制度連結ベース)の売上高、中国向け取扱高とも過去最高を記録。



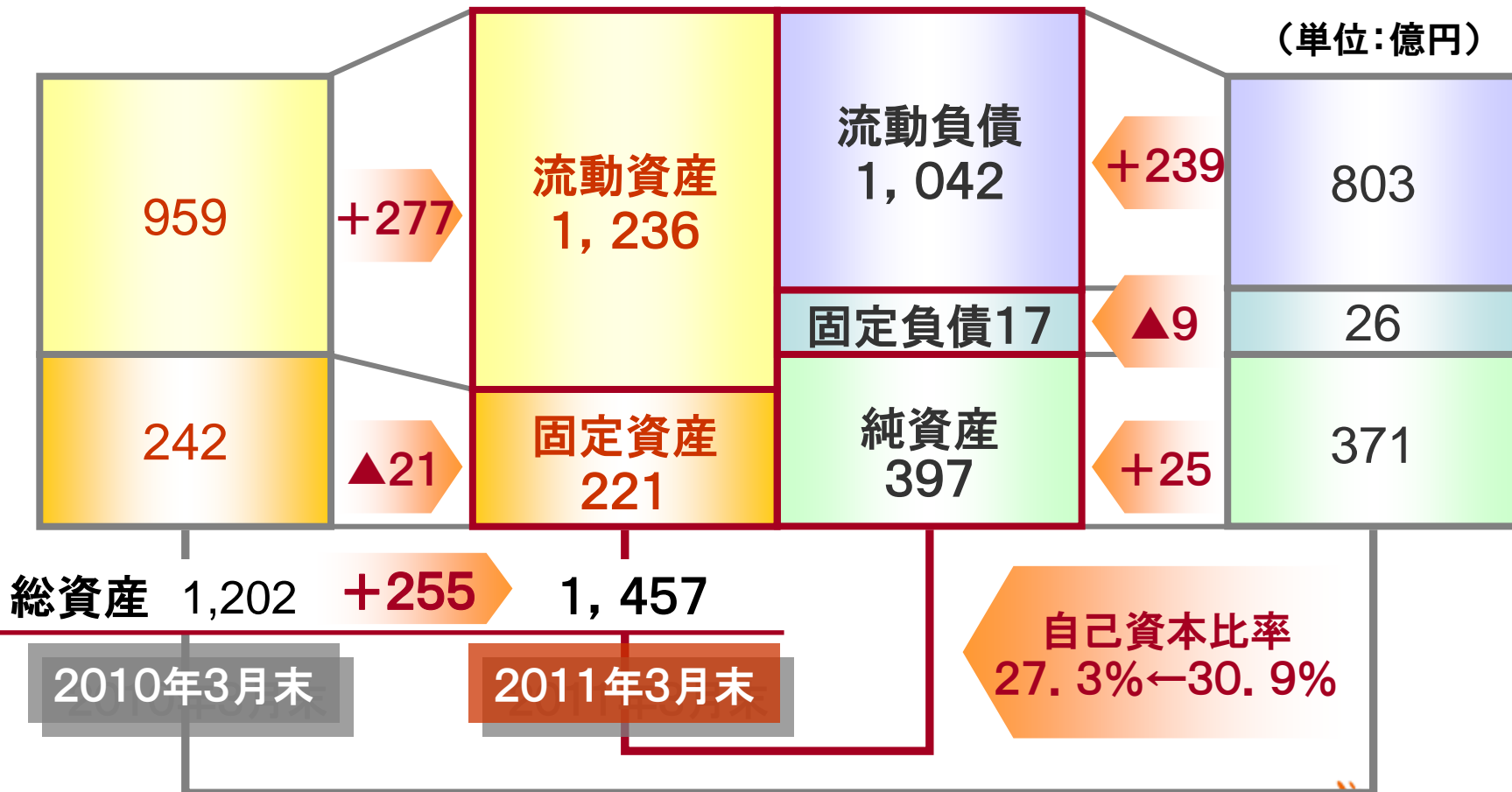
※ 注記: 外部顧客向け売上高です。

# 貸借対照表(連結)

- 業績の回復～売上債権／仕入債務増加などで、総資産は約2割増。

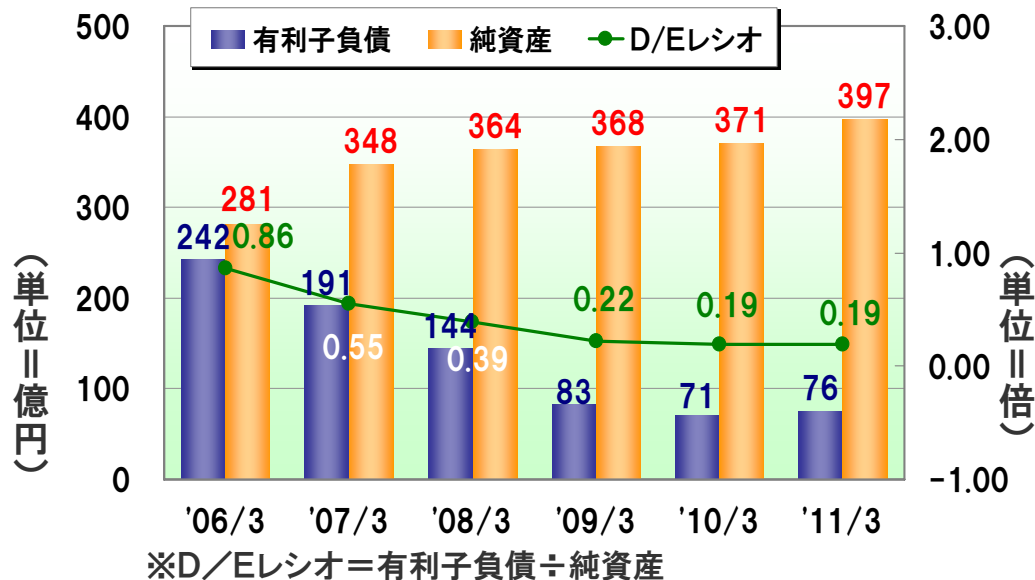
## 資産の部

## 負債・純資産の部



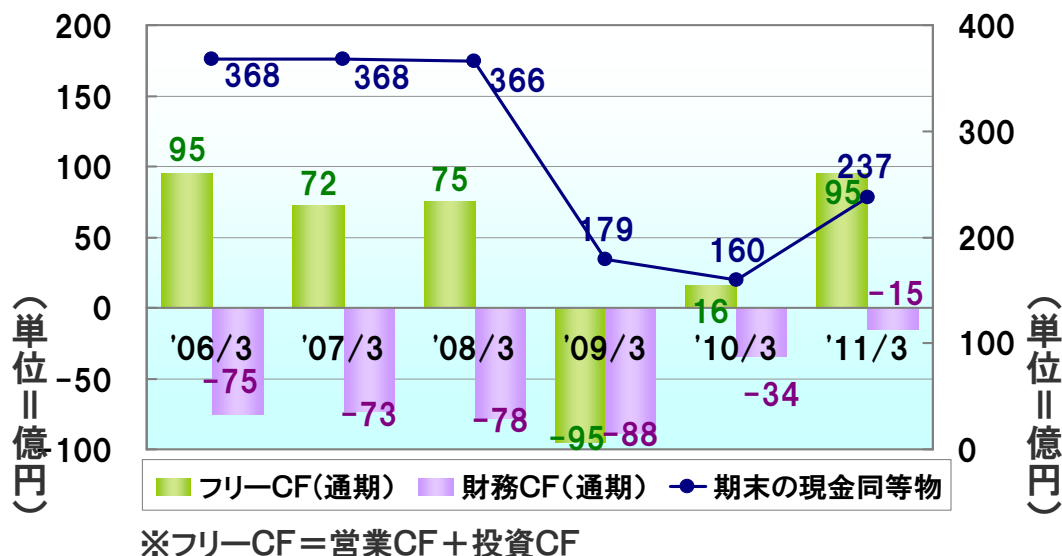


# 財務の状況、キャッシュフロー



## ＜売買収支差＞

受取手形	25,797	① 売上債権	83,190
売掛金	57,393		
支払手形	43,511	② 仕入債務	84,966
買掛金	41,455		
③ 売買収支 (① - ②)			△1,776
現金・預金	24,114	④ ネット現預金	16,448
借入金	7,666		
⑤ ネット収支 (③ + ④)			14,672



➤ 現預金を加味したネット収支もプラスで実質無借金を継続。

1. ビジョン、中期的経営方針
2. 「VISTA-3S」で目指すもの
3. 「VISTA-3S」の戦略テーマと進捗
4. 「VISTA-3S」3カ年定量計画(連結)

# ビジョン、中期的経営方針
















ものづくりに貢献し、快適な生活空間を提供する存在感ある専門商社を目指す！



# VISTA 3S

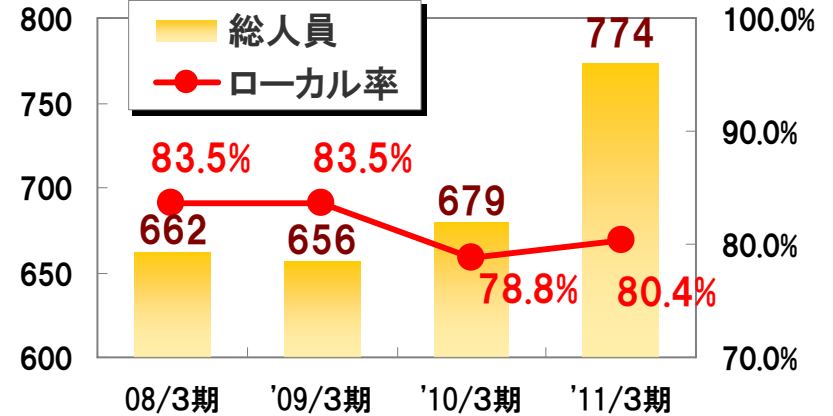
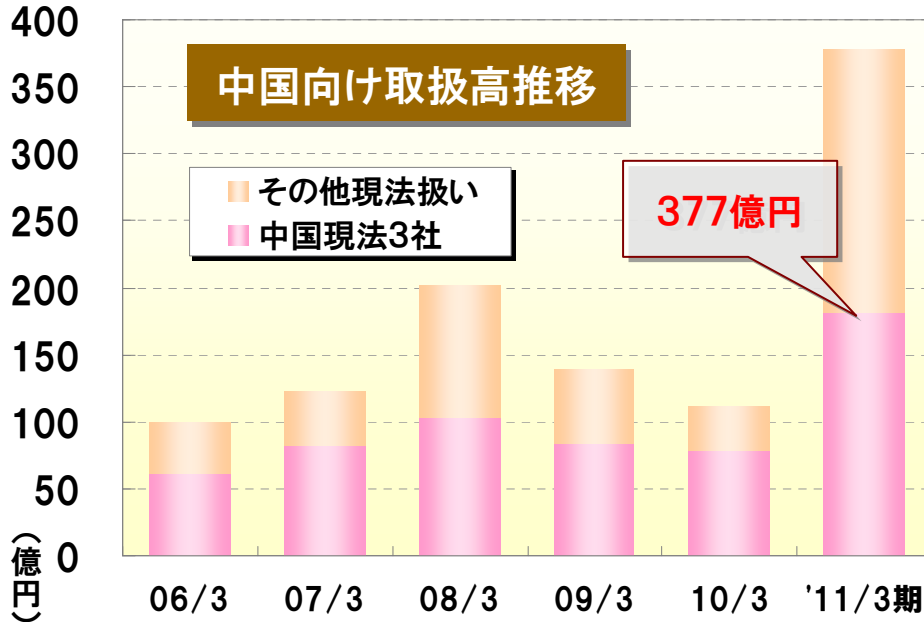
VALUE, IMPRESSIONS, SPECIALIZATION,  
TECHNOLOGY, ADAPTABILITY  
2010.4~2013.3

## 3つのテーマ、 10のアクション。

質重視によるCDへ	国内外の顧客に、ボーダレスでワンストップなソリューションを実現します。  	流通でのイニシアティブ	工作機械／内外需受注のトップシェアを狙います。 
	エンジニアリング機能と拠点網を充実させ、「質」の高いサービスを築きます。  		機械周辺機器で国内No.1の取扱シェアを目指します。 
特性を活かす	商社／ファブレス企業という特性を活かし、海外での新市場開拓と商品開発を進めます。  	ネット拡大	コンシューマ分野でPB商品のカテゴリリーNo.1へ。主要取引先のインスタシェア3%を狙います。 
マーケット・インへ	国内外とも、高いスキルとノウハウを兼ね備えた人材の育成と、それを支援するITインフラの整備を進めます。		BtoB & C共に、ネットの取扱高を倍増させます。  
	マーケットやニーズに即した事業体の再構築を実施します。	環境対応	環境関連機器の売上シェア25%へ。エネルギー関連機器、太陽光発電、エコキュート等の分野において国内トップクラスの取扱いを目指します。  

3つの戦略テーマ(Strategy)で“イノベーション(新機軸)”を起こし、付加価値力、感動力、専門力、技術力、変化適応力を兼ね備えた企業へ。

# 「VISTA-3S」の戦略テーマと進捗①：世界力



**22%**  
海外売上高シェア

➤ 中国：上海事務所を拡張移転、崑山、瀋陽に拠点増設。台湾山善出資による法人設立。

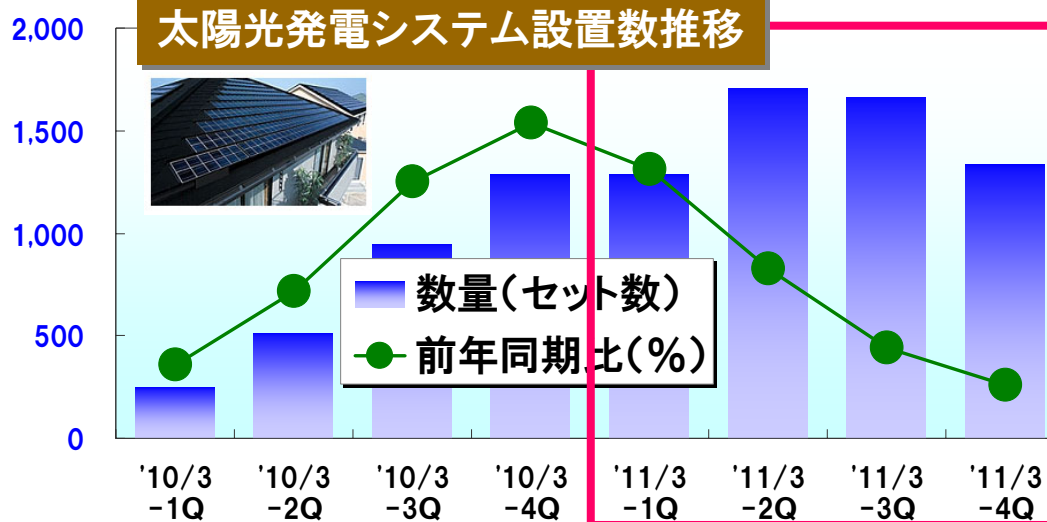
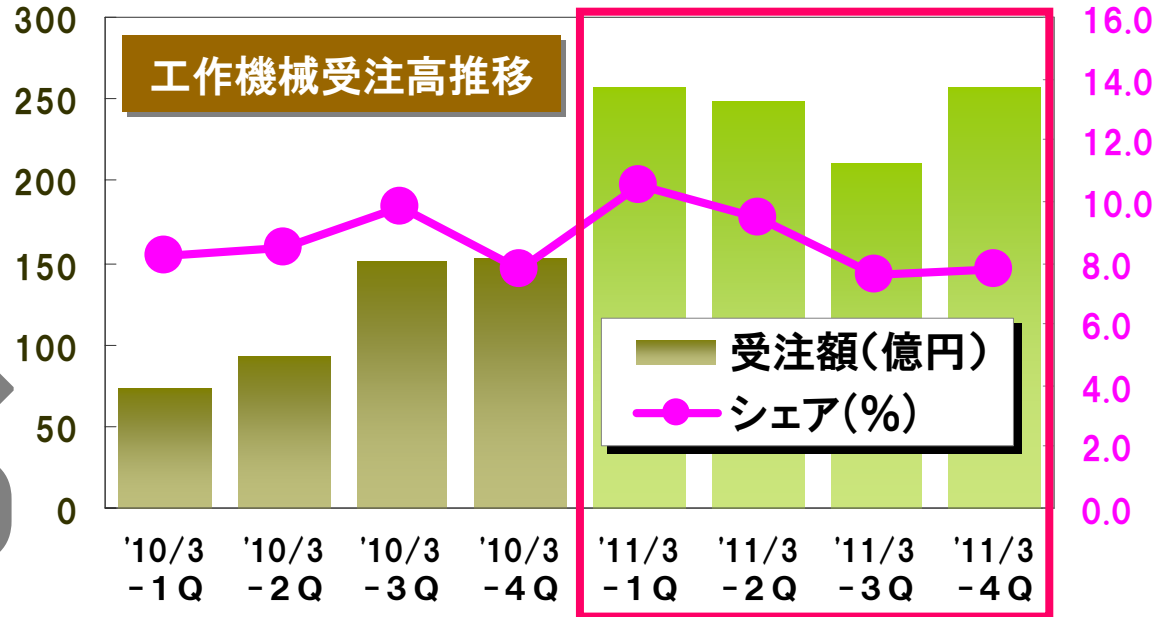
⇒ アジア地区への需要対応、サービス拡充へ、ローカルスタッフ増員、ベトナム現法設立など営業インフラを整備継続。



# 「VISTA-3S」の戦略テーマと進捗②: 専門力(1)

➤ 工作機械年間受注額は980億円。

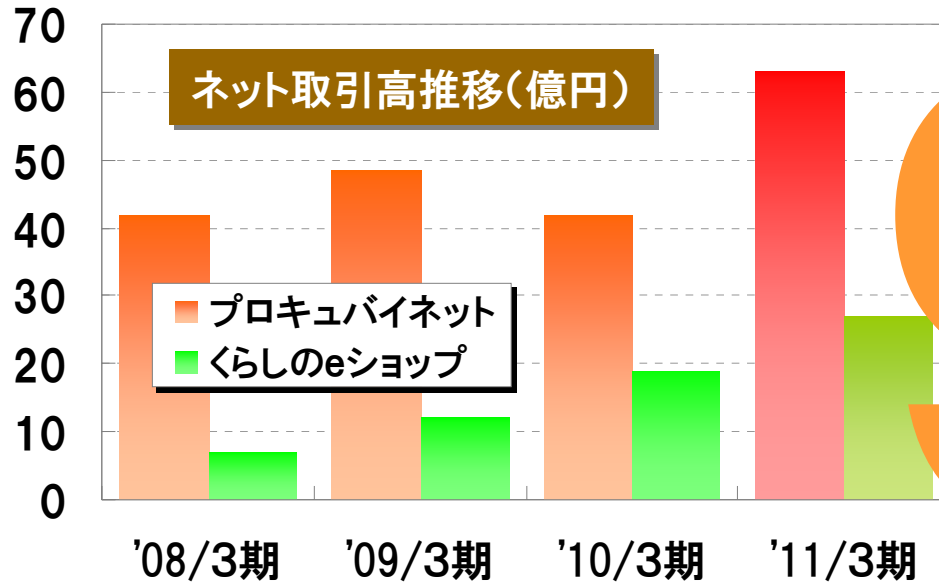
日工会シェア 9%



➤ 環境優良商品の  
全社売上高は  
824億円に。

市場シェア 3%

# 「VISTA-3S」の戦略テーマと進捗③: 専門力(2)



➤ PbN(BtoB)、くらしのeショップ(BtoC)ともに取扱高は過去最高に。

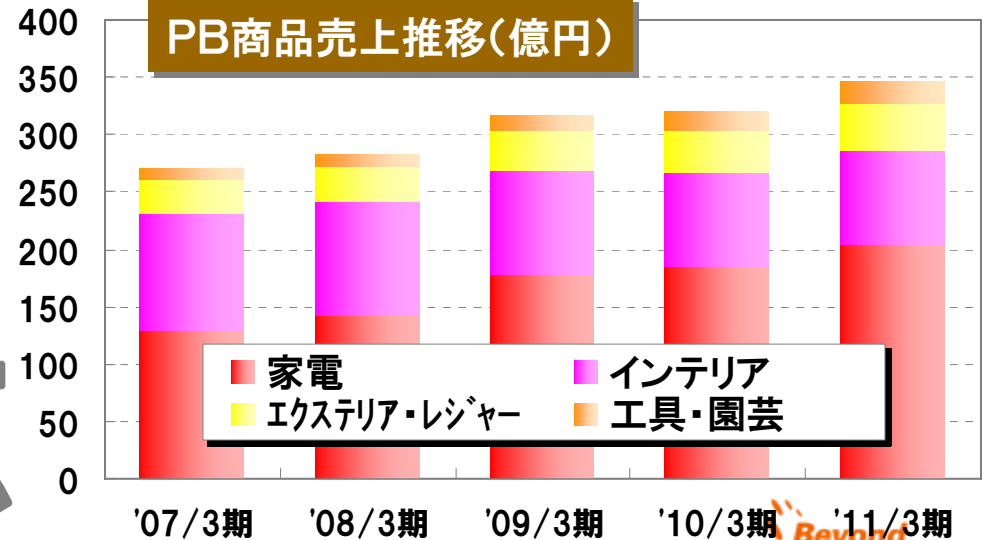
900億

ネット取扱高

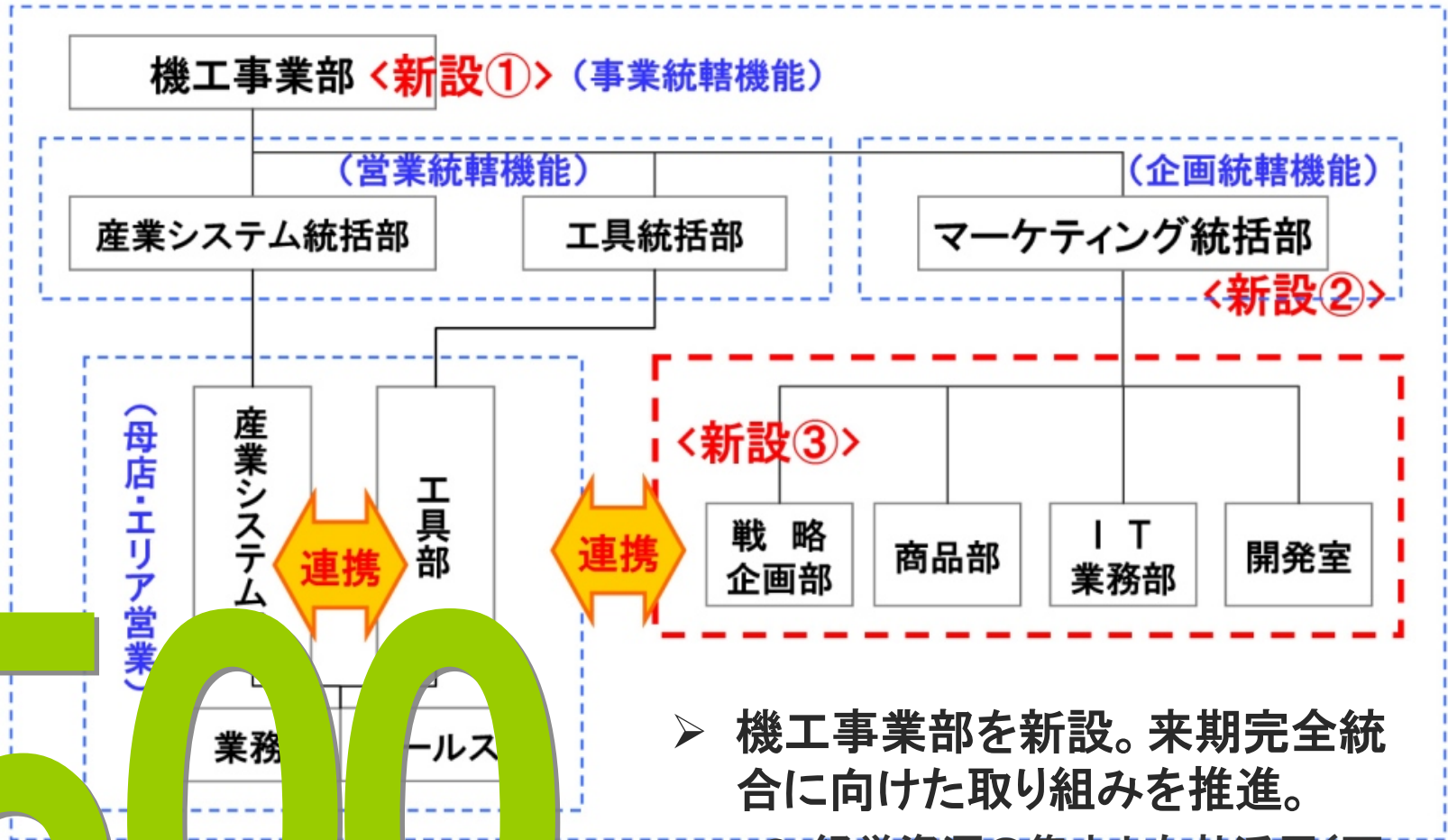
➤ オリジナル比率57%、家電PB売上は204億円、過去最高に。

350億

PB商品売上高



# 「VISTA-3S」の戦略テーマと進捗④：組織力



500名  
機工事業所属人員

- 機工事業部を新設。来期完全統合に向けた取り組みを推進。
  - 経営資源の集中と有効活用(再配分)で、CS向上と新市場の開拓を進める。

## ■ 損益計画(公表)

(単位:百万円)	2010年3月期 (実績)	2011年3月期 (実績)	2012年3月期	2013年3月期
売上高	241,410	323,703	<b>340,000</b>	<b>350,000</b>
営業利益	836	7,415	<b>7,500</b>	<b>8,500</b>
経常利益	955	7,623	<b>7,700</b>	<b>8,500</b>
当期純利益	438	4,363	<b>4,500</b>	<b>4,800</b>

## ■ 主要財務指標(公表)

(単位:%)	2010年3月期 (実績)	2011年3月期 (実績)	2012年3月期	2013年3月期
売上高営業利益率	<b>0.3%</b>	2.3% (初期目標1.1%)	2.2% (初期目標1.8%)	<b>2.5%</b>
総資産営業利益率	<b>0.7%</b>	5.6% (初期目標2.3%)	5.0% (初期目標3.9%)	<b>5.5%</b>
CFマージン率	<b>0.6%</b>	2.6% (初期目標1.0%)	1.7% (初期目標1.7%)	<b>2.5%</b>



YAMAZEN

# 「VISTA-3S」3カ年定量計画(連結)②

## ■ 部門別売上高計画





(単位:百万円、%)	2010年3月期 (第64期)	2011年3月期 (第65期)	2012年3月期 (第66期)	2013年3月期 (第67期)
工 作 機 械 部 門	26,529	39,583	45,000	58,000
産業システム部門	39,754	47,644	50,000	58,000
機 械 工 具 部 門	38,382	48,172	50,500	52,500
(機工事業部)	—	95,816	100,500	110,500
(国内生産財合計)	104,667	<b>135,400</b>	<b>145,500</b>	<b>168,500</b>
住 設 建 材 部 門	47,751	50,645	53,500	57,000
家 庭 機 器 部 門	53,941	60,455	63,500	66,000
(消費財部門合計)	101,692	<b>111,101</b>	<b>117,000</b>	<b>123,000</b>
国 際 営 業 部 門	31,876	73,697	71,000	54,700
(海外生産財合計)	31,875	<b>73,697</b>	<b>71,000</b>	<b>54,700</b>
そ の 他 部 門	3,173	3,504	6,500	3,800
合 計	241,410	<b>323,703</b>	<b>340,000</b>	<b>350,000</b>

## ■ 設備投資計画

(単位:百万円)		2010年3月期 (実績)	2011年3月期 (実績)	2012年3月期 (通期計画)	2013年3月期 (通期計画)
有形固定資産	新規投資額	302	69	100	100
無形固定資産	新規投資額	959	45	200	380
単	体	小	計		
		1,261	114	300	480
連	結	ベ	一	ス	
		1,300	380	600	580
有形固定資産	減価償却費	315	297	274	247
無形固定資産	減価償却費	437	484	285	283
単	体	小	計		
		752	781	559	530
連	結	ベ	一	ス	
		830	900	850	730

1. 本年度の事業環境の見通し
2. 2012年3月期(第66期)定量計画
3. 当期の取り組み
4. 部門別売上高計画(連結)

# 本年度の事業環境の見通し

	事業セグメント	注視する指標など	市場環境の見通し※	
1	生産財事業 —国内	鉱工業生産指数 日工会工作機械受注額 半導体製造装置受注額 自工会統計	被災地の操業停止が、他地域の生産にも波及。被災地での生産停滞+東日本の電力事情により、全国規模で製造業生産が下振れる可能性もあり。	
2	消費財事業 —住設建材	新設住宅着工戸数 キッチンバス出荷統計	節電・省エネ関連の需要が高まると共に、下期以降は、復興本格化の動きを受け、住宅投資・公共投資の寄与度が高まる見通し。	
3	消費財事業 —家庭機器	消費性向 日本DIY協会統計	被災地域内の需要減少+自粛ムードの高まりで、全国的に個人消費が減少。嗜好品・サービスなど不急の支出については先送りされる可能性もあり。	
4	生産財事業 —海外	各国鉱工業生産 同景気動向指数 全米機械工業会販売実績 統計 etc.	電子部品・デバイスの生産減少～輸出減少により、東アジア諸国の生産にもマイナス影響を及ぼす可能性もあり。	

※当社判断に基づく





# 2012年3月期(第66期)定量計画

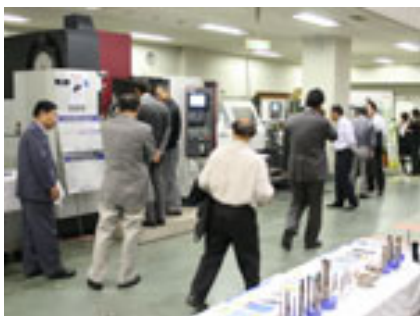
## ■ 損益計画

➤ 連結対象会社を5社追加、中国現地法人の会計期間差異を解消。

(単位:百万円、%)	2011年3月期 (第65期)	2011年9月 (第2四半期)	2012年3月期 (第66期)	前期比 増減率
売上高	323,703	160,000	<b>340,000</b>	5.0
< 単体 >	306,192	151,000	<b>320,000</b>	4.5
営業利益	7,415	2,700	<b>7,500</b>	1.1
< 単体 >	4,654	1,700	<b>5,000</b>	7.4
経常利益	7,623	2,800	<b>7,700</b>	1.0
< 単体 >	4,837	1,800	<b>5,200</b>	7.5
当期純利益	4,363	1,700	<b>4,500</b>	3.1
< 単体 >	2,280	1,000	<b>2,850</b>	25.0

## 国内(4部門)

- 専門力と、それを支えるインフラ(人材・組織・仕組み)機構改革を実行。



- 機工事業部主導による、顧客・地区・市場に見合った商品・ジャンルの販売&支援体制を強化
  - ➔ 切削工具販売150億円(計画)へ
  - ➔ メカトロ商材のプロキュバイネットでの取引拡大
- 「ものづくり企業応援展」など、ソリューション色を濃くした新たな展示会を拡充

## 海外(国際)

- グローカル力強化に向けたサービス網整備と市場開拓を継続。



- 工作機械:主要商品の安定拡大+メディカル・LED・太陽光の需要開拓を推進
- 機工:組立・切削・測定+メカトロ商品の販売体制構築による新規ユーザ・市場開拓の取り組みを強化
- フィリピン現法スタート、アジア支社間の連携によるユーザ密着の営業とサービス網を拡充

## 住設建材(2部門)

- 企画力＋供給力＋施工力＝機能商社化に向けた取り組みを推進。



- 「グリーンボール・プロジェクト」CO<sub>2</sub>削減3万トンを挑戦！
  - ➔ 太陽光発電システムの需要拡大対応へ：Web見積り「イェソラ」を軸に、キャンペーン&フェア開催で、潜在顧客の開拓～既存ルートを活性化
  - ➔ 省エネ・エコポイント関連商材のライン拡充
- 各地区で機器施工体制を整備、機能代理店へ進化

## 家庭機器

- 3S(Simple・Slim・Speed)実践、PB開発＋卸機能強化でルート活性化。



- PB商品は「安全・安心・信頼」をキーに、徹底した品質管理＋アイデア＋値ごろ感でブランド力向上に注力
  - ➔ 扇風機等、羽モノ家電の今シーズン出荷250万台(計画)へ
  - ➔ 省エネ・ニーズに対応した「LED電球」も同時に拡販
- NB商品の新ルート開拓＋新メーカーの確実な市場投入
- 楽天市場他、ネットショップの複数出店、多店舗化を推進



## 部門別売上高計画(連結)

(単位:百万円、%)	2011年3月期 (第65期)	構成比	2012年3月期 (第66期)	構成比	前期比 増減率
工作機械部門	39,583	12.2	<b>45,000</b>	13.2	13.7
産業システム部門	47,644	14.7	<b>50,000</b>	14.7	4.9
機械工具部門	48,172	14.9	<b>50,500</b>	14.9	4.8
(機工事業部計)	95,816	29.6	<b>100,500</b>	29.6	4.9
(生産財部門合計)	135,400	41.8	<b>145,500</b>	42.8	7.5
住設建材部門	50,645	15.6	<b>53,500</b>	15.7	5.6
家庭機器部門	60,455	18.7	<b>63,500</b>	18.7	5.0
(消費財部門合計)	111,101	34.3	<b>117,000</b>	34.4	5.3
国際営業部門	73,697	22.8	<b>71,000</b>	20.9	△ 3.7
(海外生産財合計)	73,697	22.8	<b>71,000</b>	20.9	△ 3.7
その他部門	3,504	1.1	<b>6,500</b>	1.9	85.5
合計	323,703	100.0	<b>340,000</b>	100.0	5.0

1. 株主還元、配当性向について
2. 当期の配当

## □ 基本的な考え方

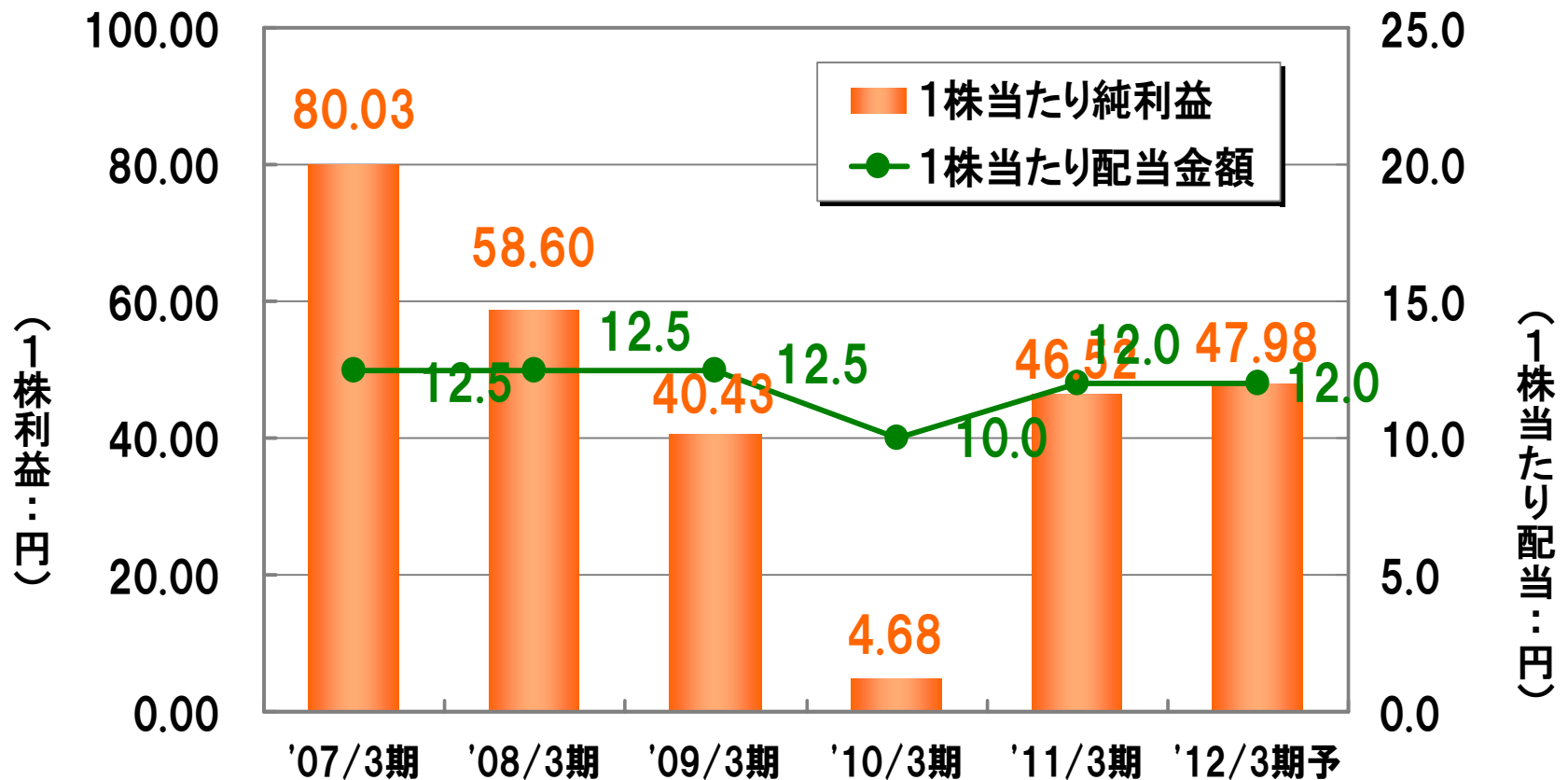
- △ 企業体質の一層の充実強化と収益力の向上を図り、株主の皆様へ安定的な配当を基本とした上で、利益水準を考慮し、連結配当性向は25%を目途に利益還元を行います。
- △ 内部留保金につきましては、株主資本の一層の充実を図りつつ、持続的な事業発展の実現に向けて有効な投資に充当し、中長期的な成長による企業価値向上を通じて、株主の皆様のご期待に応えてまいります。

## ■ 配当金の推移

		'08/3実	'09/3実	'10/3実	'11/3実	'12/3予
連結配当性向		21.3%	30.9%	213.7%	25.8%	25.0%
配当金額	中間	5.0円	5.0円	5.0円	5.0円	5.0円
	期末	7.5円	7.5円	5.0円	7.0円	7.0円

# 当期の配当

- 連結配当性向:25.0%を予定。
- 配当金額:中間5.0円+期末7.0円=年間12.0円を予定。





この資料には、当社の計画及び業績見通し等が含まれております。将来の計画や予想数値などは、現状の入手可能な情報により、計画・予測したものであります。実際の業績等は、今後の様々な条件・要素によりこの計画等とは異なる場合があります、この資料はその実現を確約したり、保証するものではありません。